



WEEKLY REPORT



会長 築瀬 敦

= 築瀬 敦 会長スローガン =

“ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30～ ■例会場:ホテルシーズン日南
 ■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内
 TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第3426例会	No.45	2025.6.25	
点鐘・ロータリーソング	12時30分 「我等の生業」		
四つのテスト	西田誠悟君		
ゲスト	藤田英樹君（宮崎第一信用金庫 常勤理事）		
例会行事	会長アワー「1年を振り返って」		

会長時間



18日に市役所で第75回「社会を明るくする運動」日南地区推進委員会に出席してきました。我々日南ロータリークラブも推進委員になっています。どのような運動なのか知りませんでしたので、皆さんにも紹介したいと思います。まずは運動の歴史「社会を明るくする運動」のはじまりについてですが、昭和24年7月1日、現在は廃止されていますが、犯罪者予防更生法という法律が施行されました。戦後の荒廃した中であって、かねてから街にあふれた子供たちの将来を危惧していた東京・銀座の商店街の有志が、更生保護の思いに共鳴し、同年7月13日から1週間にわたって、自発的に「犯罪者予防更生法実施記念フェア」別名、銀座フェアを開催したことが、この運動のはじまりとされています。この銀座フェアが刺激となり、また犯罪者予防更生法施行1周年を記念して、その翌年の昭和25年7月1日から10日まで、「矯正保護キャンペーン」が全国的に実施されました。このキャンペーン期間中、前年の銀座フェアに示された一般市民の熱意と善意を高く評価して、映画会、記念スタンプやリーフレットの配布、街頭宣伝活動などの啓発活動が全国的に実施されました。街にあふれる戦災孤児、犯罪や非行の激増による社会不安の増大、インフレや物資不足により生活に余裕のない人々の、不幸な少年に対する思いやりや愛の心を呼び戻し、殺伐とした世相に明るい光をともしたとも言われています。昭和26年7月、「銀座フェア」と「矯正保護キャンペーン」を通じて、犯罪の防止と犯罪をした人たちの立ち直りには、一般市民の理解と協力が不可欠であるという認識を深めた当時の法務府、現在の法務省は、この啓発活動を将来とも継続して一層発展させる必要があるとして、“社会を明るくする運動”と名付け、国民運動として世に広げることになりました。第60回（平成22年）の運動において、公募と有識者による選考委員会を経て、新名称が「“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」に定められました。運動の趣旨を分かりやすくしたこの新名称のもと、地域に根ざした国民運動として一層の推進を図っています。「幸福（しあわせ）の黄色い羽根」は、長崎地区保護司会が考案したもので、第61回の本運動から「黄色い羽根」を運動のシンボルマークとして全国で活用しているものです。第65回運動から「幸福（しあわせ）の黄色い羽根」と名付け、より一層の普及を図っているところです。黄色い羽根は最近では、“社会を明るくする運動”強調月間中や犯罪対策閣僚会議の際に閣僚にも着用いただいているようです。もしかしたら、井野畑さんはご存知かもしれませんが、谷村新司は、生前、この“社会を明るくする運動”の趣旨に深く共感し、平成21年運動ポスターに出演されたことを皮切りに、第60回運動（平成22年）からは、フラッグアーティストとして活躍しました。谷村新司と“社会を

明るくする運動”との出会いは、第59回（平成21年）の運動で、広報ポスターに出演いただいたことがきっかけです。本人が以前から関わっている社会的活動と重なる部分があるとして本運動の趣旨に深く共鳴し、本運動をライフワークとして応援したいとの思いの下、第60回運動（平成22年）から、フラッグアーティスト（本運動の旗振り役）として協力を買って出てくれたそうです。平成22年5月24日、法務大臣室に谷村新司を招き、フラッグアーティスト就任セレモニーが行われました。セレモニーでは、当時の千葉景子法務大臣から協力依頼状を渡すと、谷村新司からは、自身が作詞作曲した“社会を明るくする運動”応援ソング「咲きほこる花のように」を贈呈されたそうです。また、広報用ポスターへの出演、7月1日に銀座で行った街頭広報活動、有楽町朝日ホールにて開催されたトーク&ライブ「ココロの学校」等、本運動をより多くの方に知ってもらうため、精力的に広報活動に協力をしていたようです。第61回運動では、広報用CM動画に出演したり、更生保護の日である7月1日に銀座で行った街頭広報活動に参加したり、運動へのメッセージや自身の歌を披露したほか、東日本大震災の被災者支援活動である『咲きほこる花の種プロジェクト』の実施などの協力をしたようです。令和6年には、谷村新司は名誉フラッグアーティストとなることが、“社会を明るくする運動”中央推進委員会にて決定されました。さて、具体的にはどのような人がこの社会を明るくする運動に携わっているかと言いますと、まず、保護司。対話を通して、更生への道を後押しするひとです。更生保護施設職員。何かあったときに頼ってもらえる存在の人々。更生保護女性会員。地域で子どもを育み、大切な思いを受け継いでいく女性。BBS会員。子どもたちの成長とともに自分たちも学び続ける人々。このBBSは、非行少年や生きづらさを抱える少年たちに寄り添い、伴走しながら、その立ち直りを助け、犯罪や非行のない明るい社会の実現を目指す青年ボランティア運動です。そして、協力雇用主。仕事を通じて、立ち直りを支える人々です。最後に、この推進委員会は、日南市をはじめ我々日南ロータリークラブや、日南中央ロータリークラブ、ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト日南、警察関係、教育委員会関係などの様々な33団体からなっていました。青少年奉仕のひとつとして、これからも活動を続けていければと思います。

会長アワー

「1年間を振り返って」

今日の例会を持ちまして、私の会長年度が終了します。

振り返りますと、まずは何とか終わることができるなといった感じでしょうか。年末の会長アワーでもお話ししましたが、黒岩会長年度に70周年の式典等でいろいろとロータリーについて学び、PETSで学び、延岡で開催されたRYLAに出席して地区の行事について学び、会長年度が始まる前からたくさん勉強させてもらいました。始まってからの前半は年末にお話ししたとおり、お叱りを受けてからの船出でしたが、その後は台風や大雨による休会を除けば、特別大きなトラブルなどもなく無事に終わることができました。前半に関しましては、年末の会長アワーでお話ししていますので、簡単に振り返りたいと思います。地区の奉仕プロジェクト委員会による勉強会や、都城ロータリークラブ70周年式典、鹿児島にて開催された地区大会、宮崎中部グループと合同でシーガイアコンベンションセンターにて行われたIMなど参加しましたが、他のクラブの方といろいろとお話して、会長になる以前からもっと参加しておけばと感じました。クラブ内では10月に15名のわかば奨学生を例会に招き贈呈式を行うことができました。70周年記念事業でいただきました寄付金を有意義に使うことができました。11月には、田島委員長に情報集会を行っていただきました。残念だったのは、そのほかの事業で実施できなかったものがあったことです。サマー親睦会やマスコミとの懇談会、高校生就職支援セミナー中止となりました。地区大会も直前の大雨による被害のため、出席できなかった会員がいて、仕方がないとはいえ自然災害の恐ろしさを改めて痛感しました。就職支援セミナーは時期が決まっているため別の日にとすることはできませんでしたが、マスコミとの懇談会は、菊池委員長の尽力で後日開催していただきありがたかったです。年が明けまして、残りの任期が半年となりました。まず、年明け最初の例会、1月8日には「新年例会」で今年も書き初めを行いました。色紙に今年の1文字を書くという恒例のイベントですが、今年は土屋君が見事優勝されました。1月15日にはホテル側との今後の打ち合わせを行いまして、上田支配人、松本君、そして会長・幹事で話し合いを持ちました。同日にはクラブ協議会も開かれ、各委員会から前半の事業報告がありました。先輩方からのありがたいご意見も多数いただき、身の引き締まる時間となりました。1月22日には、地区社会奉仕委員会の委員長である勢井由美子さん（宮崎アカデミーRC）がビジターとして出席され、ガバナー主催のロータリー奉仕デーの説明をしていただきました。地区とのつながりも、こうして深まっていくのかと思った日でもありました。29日の例会行事の会員卓話で、豊田君がご自分の仕事の話をされました。いろんな犯罪がこの日南でも起きていると思うとやはり残念でなりません。それでも少年の露出狂と下着泥棒の話をされたと思うのですが、

元露出狂の奥さんの下着が盗まれたということで、「ああ、あの露出狂の少年もきちんと結婚できたんだな」と思ったという豊田君の感想にクスッとしてしまいました。2月6日に福祉医療カレッジにて、ライラの実行委員会が開催されました。そして、3月10日には第2回ライラ実行委員会があり、地区ライラ委員長の藤原荘一郎さんが延岡から日南に来られて、参加していただきました。花盛委員長と、事務局の鷹衛さんのお二人でほとんどの準備をされましたので、たいへんだったと思います。そして2月19日には、「テゲバジャーロ宮崎」事務局の外尾さんをゲストに招き、卓話をさせていただきました。DJ 西島君の紹介でした。自己紹介で長崎出身と言っていたのですが宮崎に来た理由を聞いて熱い男だなと感じました。集客のなど大変だと言っていたので、機会があれば地元県民として応援しに行ってみたいと思います。お話をしながら、タオルとボールまでいただき、ちょっと得した気分でした。翌週の例会行事では、職業奉仕委員会の斎藤奈々委員長がロータリーの木について話していただきました。職業奉仕という難しいテーマをわかりやすく説明していただいたなあと大変勉強になりました。3月19日の例会には、斎藤会長エレクトにPETS報告をしていただきました。私の時は急遽PETSのすぐ後に報告だったのですが、今回は、例会行事にPETS報告がなかったために私と同じようにPETS直後となりました。すいませんでした。まとめるのが大変だったのではないかと思います。3月22日には、宮崎南ロータリークラブの50周年式典へ石灘幹事とともに出席しました。大淀中学校の吹奏楽部の演奏が素晴らしく、なんと全国大会にも出場したそうです。地元の若者の活躍、たいへん嬉しいですね。祝賀会のなかで、スマイルBOX持ってロータリアンから旅費を稼いでいました。なかなかやるな中学生と思ったところでした。3月26日の観桜会では、榎田君の手配でマジックショーが行われ、桜の枝をめながらマジック。たのしい時間でした。そして迎えた4月5日、青島青少年自然の家にてRYLAを開催しました。今年は、ガバナー、ガバナーエレクト、地区幹事がそろってご来賓としてご出席くださいました。控室で皆さんと話をしているとき、3人がRYLAに揃うのは、もしかして初めてではないかといっていたいただき大変うれしかったです。来賓の方や、私のあいさつの後、午前中は勢井由美子さんに講演していただきました。東日本大震災の被災者の書いた詩に、勢井さん自身が作曲され、その歌と共に講演をするという初めてでしたが私も大変ためになりました。お昼休憩の後、そしてヘリウムリングというユニークなアイスブレイク、とても印象的でした。ガバナー、ガバナーエレクトと一緒にヘリウムリングに参加したのですが、まさにアイスブレイク。皆さん笑顔になり、あっという間に打ち解けていきました。大変すばらしいRYLAが開催できたことをうれしく思います。花盛委員長、お疲れさまでした。4月10日にはその打ち上げも行われ、延岡から藤原委員長もご参加。なんとお土産までいただきました。ちなみに翌日、藤原さんはお酒の卸売のご縁で、古澤昌子君のところを訪ねられたそうです。4月16日の例会行事は、R情報委員会で、田島委員長、土屋委員のお二人から卓話をいただきました。4月23日の社会奉仕委員会の例会行事では、井野畑委員長が「奉仕の理念」や「決議23-34」について解説された漫画を探してきてくださり、漫画のセリフのノリノリで感情を込めて説明してもらいました。とても分かりやすいと思いました。そして、小玉委員がロータリー最初の奉仕活動として有名である、シカゴクラブが公衆便所を設置したことについて話していただきました。多分その時だったと思うのですが、「ロータリー源流の会」というサイトを教えていただき、いろいろな方の投稿があって、会長時間の参考にさせていただきました。ゴールデンウィーク直前の4月28日には、日南商工会青年部の総会後の懇親会にOBとして、そしてロータリー会長として出席しました。新入会員勧誘になればと思い出席しました。若いYEGのメンバーとたくさん話をすることができました。竹井君、冨満君が後日、さっそく青年部の方を訪ね、入会を決めてくれました。若い力が加わるのは嬉しい限りです。5月14日の例会は委員会アワーで青少年奉仕委員会の花盛委員長がRYLAの報告をしました。委員長として大変だったと思いますが、おかげさまで大成功だったと思います。5月16日には、以前豪雨で延期されていたマスコミとの懇談会が菊池委員長の段取りで実施することができました。市の広報、宮日新聞、MRT、時事通信、UMK、読売新聞からそれぞれご参加いただき、メディアの皆さまと直接お話ができる貴重な機会となりました。5月18日には延岡の野口遵（したがう）記念館にて、地区研修・協議会が開催され、峰松次期ガバナー補佐、斎藤会長エレクト、菊池幹事エレクト、入中次期副会長、次期各委員長である井野畑くん、西島くん、竹井くん、豊田くん、そして私の9名で参加しました。学びと刺激の多い1日でした。5月は、大変うれしい月となりました。21日には、日南造園の松田圭司くん、28日には落合衛生社の稲垣拓朗くんが入会しました。6月11日には、竹井醸造の竹井克己くんも入会し、若手3人、新たな仲間として一緒にロータリーを盛り上げていければと思います。6月4日、南部グループの3クラブ合同「選べるロータリー奉仕デー」が行われました。3クラブ合同ということで、日南中央ロータリークラブから、会長、幹事のお二人。串間ロータリーから会長にもお越しいただきました。今回は奉仕活動そのものではなく、物価上昇に苦しむ「NPO 法人子ども食堂」さんへ、

地区補助金を活用してお米を届けました。さらに、当クラブの「翡翠賞」もこの子ども食堂さんに贈呈。UMK さんや宮日新聞さんの取材も入り、広報活動としても素晴らしかったと思います。

以上、駆け足でお伝えしましたが、こうしてふり返ると、どの出来事も人と人とのつながりが温かく感じられるものばかりでした。これからも、地域と、そして仲間との絆を大切に、ロータリー活動を続けてまいりたいと思います。

1 年間ご協力ありがとうございました。

幹事報告

1. 小林ロータリークラブより、事務所移転のお知らせが届いております。
 2. 宮之城ロータリークラブより、例会日変更のお知らせが届いております。
 3. ロータリー希望の風奨学金より、“風の便り” (通刊 128 号)が届いておりますので、回覧致します。
 4. 7 月第 1 例会より昼食を当ホテル 1 階『るな』でお取りください。
 5. 午前 11 時 30 分より各自適宜お済ませのうえ、例会開始 5 分前の 12 時 40 分までに例会場にお入りください。
- なお、欠席される場合はできれば前日中にグループ LINE にてお知らせ頂けると助かります。

スマイル

甲斐 信之君 4 年間お世話になりました。ありがとうございました。

土屋 昭次君 脊柱管狭窄症（セキチュウカンキョウサクショウ）皆さん読めない病気で、昨年 7 月末より 8 月 9 日まで入院いたしました。本日御見舞を頂戴致しました。約 1 年近くですがありがとうございました。

入中 英雄君 築瀬会長、石灘幹事、一年間お疲れ様でした。

石灘 寛樹君 先日のクラブ協議会の際のホワイトボードの標記が誤っておりました。すみません。

築瀬敦君・石灘寛樹君

皆様 1 年間ご協力ありがとうございました。

黒岩会長から受け取ったバトンを、無事に斉藤会長エレクトに渡すことができます。

皆様のご協力に感謝を込めて、そして次年度の会長、幹事にエールを込めてスマイルします。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	H C 出席	M U	欠席	出席	出席率(%)
今 週	33	7(4)	29	25	1	3	26	89.65%
出席免除	落丸、清水、田島、渡邊、							
先取 M U	齋藤奈々							
欠 席	石灘、榎木田、日高							

務局〒887-0014 日南市岩崎 3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斉藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より 情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jp まで送信してください